

育成センターだより

3月 第11号
 那賀町青少年健全育成センター
 2018年3月1日発行

今年度を振り返って

2月は驚敷地区での断水という想定外の出来事がありました。普段は何気なく使っている水や電気ですが使えなくなって初めてそのありがたさが分かります。あらためて、私たちはいつもあたりまえと思って使っている物や出来事に対して感謝したいと思います。



一方、となりの韓国では平昌冬季五輪が開催され、連日、日本人アスリートの活躍が報道されていました。これに関して今、熊本県内の交通情報板には次の2種類のフレーズが表示されているそうです。「お先どうぞ ゆづる心に 金メダル」「安全運転 大事だよね そだね〜」フィギュアスケート男子シングルで金メダルを獲得した羽生結弦選手の名前や、カーリング女子日本代表メンバーのあいだで交わされる北海道なまりの「そだね〜(そだね)」などが、標語に盛り込まれています。熊本県警に金メダル!!!

さて、本年度の本センター内の状況を振り返ってみますと、非行行為等ほとんど見かけることはなく、大きな事故や事件もなく、比較的平穏な日々を過ごせたのではないのでしょうか。このことは、家庭や学校、そして地域や関係機関の皆様のご支援やご協力があったからこそだと痛感しています。そして、何よりも子どもたちが個々を大切に、明るく元気に成長しようとする気持ちが育っているからだと感じました。

今後も、各地域の育成員さん及び学校、警察署等の関係機関と連携を図りながら、子どもたちの健全育成に努めたいと思います。特に3月のこの時期は、卒業式や修了式等を控え、気が緩みがちになります。ご家庭でも十分に子どもたちの行動に目配りしながら、新年度を気持ちよく迎えられるようよろしくご協力をお願いします。

防犯教室(誘拐防止教室)



2月21日(水)、相生小学校体育館において誘拐防止教室が開催されました。まず、那賀警察署員から、徳島県内の不審者発生件数や不審者対応へのお話がありました。次に、実際に警察署員さんや当センター職員が不審者役となり、児童に声をかけることで、その対応の仕方などを確認しました。また、子ども対大人の「力くらべ」では、大人の腕力のすごさを身を持って知る事が出来たようです。最後に、防犯標語「いかのおすし」を、全校児童で復唱し、「大声を出すことの大切さ」など、不審者への対応をより理解することが出来ました。相生小学校1年生から6年生まで、全員がそれぞれの活動に積極的に参加して、有意義な誘拐防止教室となりました。

最近、阿南市内では、「車からの声かけ」や「腕をつかまれる」等の不審者情報が急増しています。十分注意してください。

最近、阿南市内では、「車からの声かけ」や「腕をつかまれる」等の不審者情報が急増しています。十分注意してください。

第8回「那賀町を愛する心」少年の主張弁論大会

2月18日(日)、町教育委員会主催による「那賀町を愛する心」少年の主張弁論大会が、驚敷中学校多目的ホールで開催されました。



午前に小学生13名、午後中学生12名が、町や地域への思いや願いを、体験を交えながら力強く発表しました。

表彰終了後の審査員講評では、「将来那賀町を住みやすい町にするために自分にできることや地域との関わりを通して自分の生き方を考えたことなど、素晴らしい発表が多くあった。」そして、「自分に自信を持って、今後も勉強やスポーツに頑張って将来の那賀町を支えてほしい。」というお話がありました。入賞者は、来年度のオーストラリア海外研修(中学生)・国内研修(小学生)の候補者に選定されています。

【上位入賞者の結果】

1	驚敷小学校	4	岸本 愛	百年後のふるさとを思う『水害から町を守る』を研究して
2	平谷小学校	5	末崎 旭	ぼくたちの那賀町の拝宮和紙
3	相生小学校	5	森本大翔	広めよう ぼくの大好きな那賀町のよさ
4	木頭小学校	5	野口芙羽	みんなで手をたずさえ心を一つに
5	相生小学校	4	東上ももか	私の那賀町PR作戦

1	驚敷中学校	2	西村美里	見つけたっ
2	驚敷中学校	1	濱 優太	An Eternal Rival
3	木頭中学校	2	瀬戸本花菜	ふるさとへの思い
4	相生中学校	2	森本 輝	ぼくたちが変えていく那賀町
5	木頭中学校	1	大西 快	これからの那賀町のために



【小学校入賞者】



【中学校入賞者】

相談直通ホットラインを開設しました

あらゆる悩み事をお気軽にご相談ください

☎ 090(3184)3646

【みーいんなやさしい(自分の)みりよくをしよう】

秘密は守ります。一人で悩んでも解決しません

那賀町青少年健全育成センター 担当 いけ すぎ 生杉